

2023 第 22 号 <No.196> 令和 5 年度 JST 国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）の実施（2023 年 11 月 1 日配信）

<令和 5 年度 JST 国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）の実施>

国際センターでは、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が主催する「国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）」に交流計画が採択され、10 月 9 日から 10 月 5 日の日程で、国立インドネシア大学医学部より大学院生 8 名、教員 6 名の計 14 名を受入れました。本学での本事業の実施は 7 度目です。

今年度は「産業医学の未来を拓くーインドネシアと日本の協力関係を構築する国際研修」をテーマとし実施しました。本学教員による産業医学・保健に関する講義では、質問も多く、学生らは熱心に聞き入っていました。また、西日本産業衛生会も見学し、日本の健康診断施設や実際の運用と母国の様子を比較する良い機会となりました。

また、10 月 13～14 日には、本学で十数年ぶりに開催した産業医科大学国際シンポジウム 2023 に参加しました。今回の招へい者のうち 2 名は講演者として登壇し、それぞれ、「産業保健からの視点からみたインドネシアの医療デジタル化強化による医療変革」、「インドネシアの産業医学におけるビッグデータ分析フレームワーク構築の準備と課題」について講演した他、招へい者のうち大学院生 8 名全員がポスター発表も行いました。うち 1 名のポスター発表「有機溶剤への曝露された印刷作業員の慢性腎臓病について」はシンポジウムのポスター賞を受賞しました。

プログラム期間中には、今後の具体的な共同研究や人的交流についても議論され、今回の訪問が、今後の交流・研究活動、そして、機関および国レベルでのより良い協力関係へと発展していくことを願います。

最後になりますが、この度ご支援いただきました国立研究開発法人科学技術振興機構、関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。



講義の様子



講義の様子



ポスター発表



記念写真